

| 第16回総合計画策定幹事会 会議概要 | |
|--------------------|---|
| 日 時 | 平成21年7月13日(月) 午前9時00分～午前11時00分 |
| 会 場 | 庁議室 |
| 出席者 | 大崎幹事長、加藤幹事、山本幹事、進藤幹事、小嶋幹事、入江幹事、浅見幹事、筒井幹事、木内幹事、今井幹事、前田幹事、木村幹事、山岡幹事、守岡幹事、鈴木幹事、唄中幹事、林幹事、小西幹事 |

[議事]

1. 基本計画(素案)について

事務局から説明

《意見等》

- ・この基本計画の中に、「アクション※※が目指す2020」とあるが、基本計画はまず平成24年までで、これについて基本構想に基づいて、アクションをこの期間で考えるということだと思うが、これが次の4年続くとは限らない。しかし、2020年の値を書いているが、何か意味があるのか。
- 基本計画は3年、4年、4年で計画することになっていますが、基本構想の11年間を睨んだ中で、基本計画を3年、4年、4年で見直しをかけていこうと考えております。2020年を目指し、この2012年の時にこの施策が必要かどうかを含めて見直しをし、この基本構想に基づいて施策をやっていくこととなります。
- ・全般に見やすく分かりやすい共有のもので2020年を目指していくのかといった、議論になるのではないかと。この基本計画でどこまで出していくのか、つまり枠組みだけ作っておいて、例えば来年について、今年度の予算も考えて議論した後に、平成22年の4月に指標を決めるとか、今の段階で決めることはどうであろうか。急いでやってしまうと、数字だけを見て判断されてしまうのではないかと。それから、施策の概要と指標に書いてあることは、2020年に求められる内容で書けていないのではないかと。どこでも意識して慎重になり、あまり進んだことは書けないのではないかと。目標が見えてこないということが言われるかもしれない。この基本計画は、いつ頃に目標値を入れて完成するのか。
- 目標値は今年度3月末には入れたいと思っている。ただ、このアクションは市民の皆様と11年間、内容によっては3年計画でベンチマークを作っていこうと考えており、市民会議で議論頂くのは、ここにあるアクションの文化・芸術に親しむ市民が増えるということについて、指標を考えてもらいます。例えば、市民音楽祭の参加者であるとか、そういうことが考えられるねといったことについて議論をして頂く。実際に、スタートがわかる数字もありますし、9月に意識調査をやって、それを原課に考えて

もらい、もう一度この場で議論し、どういう状態にしていくかを考えていきたい。その施策と関連する指標が、中々見つからない訳ですが、あくまで、こういう市民を増やしていこう、こういう場を開いていこうということを、市民会議で議論頂く予定です。このスタートの数字を分かりやすく示し、10月から審議会が始まるので、そこで示していかざるを得ないと思っています。最終確定は3月の予算の時、これに全ての予算がついてきます。11月に基本計画のパブリックコメントをしますので、その時点で方向性は示さなければならない。

・まだ数字が入っていないものもありますが、それは今の段階で入れられないという意味か。項目としては原課がこういうものをあげていく形か。

→そうです、あげていくかヒアリングを行うなどであろう。

・これは3カ年の基本計画の素案、2020年を見据えた第1期目の3カ年の基本政策3カ年で達成すべき水準を書くものなのか。そうすると、その前段になる財政運営計画の策定を、現在行っているが、それと同時進行に財運で掲示した事業以外のことを、一歩進んだ表現をしても無駄になるのではないか。この3カ年で指標化ができない。例えば、市民アンケートのように、5年に1回の場合はどうするのかなど、大きな前段整理をしなければいけないのではないか。

・この基本計画を、もの凄く細かい3カ年計画にすると、外のものばかりが並んでいるために、市民に何をしてくれるだろうというのが見えにくい。例えば、「充実を図ります」と書いているが、では一体何をしてくれるのか、どう充実するのかというのがもの凄く見えにくいし、実感できない印象を受ける。

→事務局としては、3年間どのような事業をやっていくのか、どういう予算でやっていくのかということ。以前の幹事会で、これをロジックで作っていくということを出したと思いますが、外に出すか出さないかは別として、今のところ、これに具体的な実行計画的な各施策を裏に作っていききたい。そこに、個別の事務事業の3年計画を作って数字もはじき出し、それを受けて、例えば主要な事務事業はこうしますという表現に留めることもできていると思っている。その3年間の予算も含めた事務事業の照会をしたい。たしかに、基本計画が後になっており、財運はどちらかということ、事務事業ベースではなく工事ベースであったり、レベルが違う部分もありますが、全ての事務事業をはじき出していききたい。そのために今月末頃から説明会を開催する予定です。

→細部まで把握が出来るものと出来ないものもあると思いますが、把握が出来る部分について確認を願いたい。そして、意見の出してもらいこの場でやり取りをし、それを整理しながら良いものにしたいと思っています。

・「財運=これ」ならば、財運と区別がつかないのではないか。そこまでシビアにすべきものなのか。

・この基本計画の一部が財政運営計画であり財政シミュレーション事業と言いきってこれを作らないと、予算が全て包括するので、その一部が財運であり、シミュレーション事業であるため、これでは当初予算編成そのものを括ってしまうことになり、差し障りがあるのではないか。

・第4次総合計画は、大まかな基本計画であり、結局、3カ年の実施計画を作っていた。今回は、3カ年実施計画も合せた基本計画をやるといっているのであるから、当然に財政面も考慮しないとイケない。その辺りは、調整できているのか。

→事業費は把握したい。財政シミュレーションは、全ての事業の積み上げではなく、3

カ年のハードの1億以上と、ソフトの1000万以上を積み上げて、そのローリングとシミュレーションしている。これは、全事務事業を把握して、積み上げをしていくもの。こちらとしては、それを査定することまでは考えていない。これまでも、多治見市方式でやってきているので。

→第4次総合計画は、事務事業を書いておいただけで、誰がするのか、どこがするのかは何も書いておらず、総括する時に違う事があった。それではやはり計画ではない。まして、この施策をどの事業でどのようにやるかを書く、書かないは別にして、事務局としては、職員のプロジェクト会議で全ての施策に事務事業を貼り付けていかなければならないということを議論した時、事業費をどう合わせていくかという難しい点もありますが、職員の大半の意見として、ここに全部事務事業が貼り付けていこうとなった。さらに、理想としては事務事業と予算の事業名が連動すれば、予算の重点的な、例えば、どの分野にどれだけの予算がついていて、ウェイトを見ることができるといった話もあった。その進行管理が出来ることで、3年間の基本計画の総括もきっちり出来るのではないかと、それに基づいて説明が来ています。ですから、基本計画はこの言葉だけしか示さないつもりですが、これだけでは責任がありませんから、事務事業なり事業費も含めて把握をしていこうというのが事務局の考え方です。

・全ての施策を基本計画に組込むということか。

→行財政マネジメントのところにある、窓口関係や議会の対応といったものが、中々計画が見せられない。議会事務局であったり監査委員であったり、そういうのが中々入りにくい。見えてきた課題はあるのですが、今のところこれ以外は全て入りますから、これでいきたい。予算についても、同様に議会の議員報酬や議会運営費のようなものが、計画に少し入りにくい。平成21年度予算の事務事業を、事務局で当てはめると、大体入りました。ただ、抜けている所をどうするかということもありますが、ここは、どういう予算がつくのか、どういう事務事業がつくのかということ、検討する必要があります。

・男女共同参画の括りについて、現在、推進計画ということを実施で基本的にしていこうと考えているようであるが、意識づくりについては事務事業として男女共同参画推進費があるが、それ以外にも身近な取り組みもあるし、子育て業務といった様々な事業でやることは、結果として男女共同参画推進の取り組みになってくることもあるのではないかと。そうすると、男女共同参画という施策か分野か、それで予算と繋げていくとなると、無茶苦茶になってしまうのではないかと。再掲でもすれば良いが、それはしないのであろう。事務事業を原課が考えた時、予算事業ベースで子育てという面での事務事業としてあげていくだろうから、ここで挙がってこないのではないかと。

・基本計画に指標レベルのものを入れると、財政運営計画と財政シミュレーションと、どのように調整するのかという話になり、4月にスタートするのは実質不可能であろう。だから、施策の部分に3年後にはどういう出し方が見えてくるぐらいを、事業名を使わずに書き込む。内容的にそこだけの役割分担がありますね。行政だけがするものではなく、市民の役割もある。このような形で事業を出してしまうと、調整は難しいのではないかと。

→そこまではなっていない。ただ多治見市のような構想を作っていきますということにはなっています。そのように議会に答弁しました。

・現時点では、そこまでを望むのは無理であろう。

- ・ここで議論するとしたら、教育青少年、次の子育てのところも含むが、就学前の話については、一定の方向で何らか書き込む必要があると思います。何らかの方向を3年後に向けて、アバウトな形でも書き込む必要があるだろう。
 - ・議会にはいつの時点で、どういう説明の仕方をするのか。
- 8月の段階で基本計画素案の頭出しをしていかないといけない。
- ・この形を出すのか、財運の説明する前に。問題があるのではないか。
- 体系だけでもいいかもしれません。
- ・総務部がやっている財政運営計画、財政シミュレーションと基本計画との関係がわかるイメージ図を作ってほしい。それを整理して、議会にも説明が必要である。
- いずれせよ、議会から「この基本計画の事業はいくらかかるのか」と言われますから。
- ・それは無理である。全ての事務事業を網羅して積み上げ、3カ年これだけ金がかかるということは、誰も出せないのではないか。
 - ・そこに事業名を出すだけ。施策は概ねこのレベルで持っていきたいということ、打ち出すなら良い。ここに書いてあるのは、現状でやっている施策の内容を書いているだけだ。何にも夢がない。原課が出すと言っても、自分達は苦しみたくないから、進んで出すはずがない。これでやるならば、書き込むということが本当に必要な部分を議論する必要がある。
 - ・原課としては、財源裏打ちのない、また、今後自分のところがやるといったらやらないといけないプレッシャーも感じるし、新たな施策はこれを読ませてもらったが具体的には書いてない。充実に努めますという表現になっている。それが果たして本当に基本計画の目的なのか、全ての施策で書いていることは「取り組みが充実しています、努めます」ということだがそれで本当にいいのか。
 - ・今の意見は、内容についていいのかというのは、具体的に入れよという定義かそれとも違う意味を入れるのか。
 - ・多治見市はどのようなこと書いているのか、どのレベルまで踏み込んでいるのか。
- 例えば、「放課後子供プランの展開をします」などにABCを付けている。Aは必ず、Bは予算の都合による、といったように。第4次総合計画は、「放課後子供プランの展開」までぐらいしか書いていない。これが何か分からないため、説明を丁寧にしていこう、職員が使える計画というのをどうしようというのが、「事務事業や事務事業評価、予算とリンクさせたら使うのではないか」ということが、まずプロジェクト会議から意見として出ました。施策に全ての事務事業や予算を貼り付けていこうというのが、若手の職員から意見として出ていましたので、それに基づいてやっていこうと。そうすると結論や予算を別にしても、決算の時に草津市は「子ども・子育て」の分野でどれだけ配分を置けたが把握出来ます。予算査定が問題になりますが、例えば、施策分野ごとに配分することが、将来的には出来るのではないか。その時に、市長の考えで「子ども・子育て」はシーリングをかけないなど、また、事務事業名と予算事業名を合わすことで、もっと市民にわかりやすい計画にしていけるかもしれない。
- 多治見市を例にすると、子ども、子育て支援事業による家庭支援を推進しますという施策があります。事業名としては余裕教室等を活用し放課後児童育成健全事業実施箇所を増加します（子ども支援課、優先度B）や、乳幼児医療費の外来助成範囲を就学前までに拡大します（保険年金課、優先度A）と書いています。

- ・そこまでを目指すならば、予算や財運に先行し、きっちりと先に決めてしまわなければならない。基本計画で、ここまで事業を入れて経費もこうする、財運はこの範囲で作れと逆に基本計画から言ってくれないと出来ないのではないか。

→ここに書き入れるだけで終わるというのも1つかもしれません。例えば、予算は別にして、どういう事務事業にするのかを把握するだけでも良い。

そのやり方で、3年間で新たな事業が出てくるのならば、何のための総合計画か分からなくなる。これまでやってきた予算の使い方を、総合計画により統制するためにやってきた。そこまで各課取り組まなければ出来ない。各部長、副部長、市民会議が皆取り組んでやっているということ。財運と予算との調整もして、細かいところまで出して、どこまで使えるかということを出そうと言っているのだから、大まかに書いておこう、その中でやれたらいいと言うのだったら、このように3年、4年、4年って分ける必要がなくなる。これまでと変わらずに、何かとにかく書いとくと、その中で出来たらいいじゃないかという話になります。今までも、これと同じものをやろうという話は一回もしていない。議会の答弁でもそういう話をしている

- ・もう、そこまで来ているのではないか。実際に3月末で基本計画を作ることは、スケジュール的にも難しい。

だから、もっと見える形で出してきたらどうだと言っている。施策を書き込み、3年後にはこうなります、目指しますというレベルで調整しなかったら、財源の裏付けの整合性と詳細な整合性が取れない。これをやっていくこと自体が今から難しい。落ちつき所を考えないといけない。

→これまでの総合計画と同じように作るのなら、別に総合計画は総合計画で作っておいて、他に様々な施策を考えたら良くなってしまいます。

以 上